

## 書籍のご案内

石河正夫 著

# 「風景の鼓動」

——人生は旅、驚きと発見は心の友——

元外交官（1970年後半に在シンガポール日本国大使館に一等書記官として在勤）、退官後、明海大学客員教授、現在、日本シンガポール協会会員

### 内容紹介

本書の第2章は、「SINGAPORE」（日本シンガポール協会季刊誌）に、外交体験記として「奇跡のシンガポール～70年代の後半に在勤した元大使館員の体験から～」が2010年2号より3回にわたって掲載された記事に、若干追加修正したもの。

1. 「風景の鼓動」発刊後、先輩、友人など読者から多くのコメントが寄せられている。主な反応は次の通り。
  - ①南洋大学の廃校が主要閣僚の強い反対にも拘わらず、何故リー・クワンユー首相によって強行されたのか、その理由を初めて知った。
  - ②リー・クワンユー首相がデリケートなモスク撤去の問題について、何故頑固な宗教指導者を説得できたのか、その理由が初めて飲み込めた。
  - ③風景現象学から見た英国統治の評価の部分が新鮮で興味深かった。
  - ④リー・クワンユー首相が桁外れの防衛軍事力を強化せんとして、カーター米大統領と交渉した生の描写、（当時の新兵器、地对空ミサイルの売却を要請した経緯）には驚いた。
  - ⑤憲法第9条改正に反対であったが、抑止力についての分かり易い解説により、いわゆる平和論者から改正賛成論者に変わらざるを得なかった。
2. 第2章はシンガポールでの外交裏話を含む体験記であるが、第1章のフランス紀行は歴史と文化に依拠した風景現象についての分析が好評である。

特に「ジュヴェルニーを訪ねて」のところで、印象派の誕生及びモネと葛飾北斎の関係について、シカゴ美術館の専門家より「美術を通してヨーロッパと日本の歴史が

交差していく様子がよくわかる興味深い紀行文で、感嘆致しました。」とのメッセージが寄せられている。

第3章のイタリアについても紀行文の体裁をとりながらも、随所に風土論、文化比較論、風景現象学の視点からの分析が織り込まれている。

例えば、海洋国家としてのイタリアが何故衰退し、シンガポールが飛躍的に発展したかの歴史的背景について、フランスの歴史学者、ブローデルの考え方等が紹介されている。

## 目次

**第1章 フランス紀行—パリの風景と歴史—渦巻き状の模様と祖先たるケルト人、石の聖書、星形放射状の風景と中央集権制、パリ中心主義と最近の社会的亀裂、—ジヴェルニー（モネと睡蓮・積みわら等）—、モンサンミッシェル（風景が動く驚異、トロンボ現象と万有引力等）**

**第2章 シンガポール紀行—現代の奇跡、大国並みの経済力と抑止力**

1. 海の有利性とエアコンを生かし、基幹産業の誘致育成に成功
2. 最新鋭の工場（セイコー、住友化学の石油化学産業）
3. 現代文明の最先端へ走る基盤—国際空港、国際金融センターなど
4. 水面下で米国と密接な連携による断トツの抑止力—ミサイル200基
5. 中国台頭による悪影響防止の改革—南洋大学の廃止、英語化の推進

**第3章 イタリア紀行—ローマ文明の遺産と風光明媚を誇る—地中海の真珠、カプリ島、—地中海文明（ナポリ、ベネチア）から、東西文明の十字路（シンガポール）へ—ローマ貴族の館に泊まる—ソレントとアマルフィの景観と歴史など**

書籍名：「風景の鼓動」

—人生は旅、驚きと発見は心の友—

著者名：石河正夫

出版社：幻冬舎・ルネッサンス新社

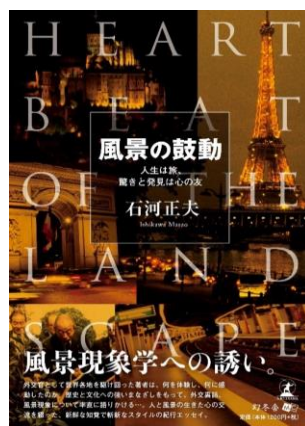
TEL03-5411-7188 芝崎/石坂

発行：2018年1月

仕様：四六版／本文254頁

価格：1,200円（税別）

ISBN：978-4-344-91515-2



この書籍は当協会にても、販売しています。在庫状況や送料などは、事務局までお問い合わせください。（事務局）